

ウクライナのために戦うベラルーシ人、プーチン氏の支配からの祖国解放を望む

2022.04.15 Fri posted at 19:00 JST

ウクライナでの戦闘望むベラルーシの亡命者部隊、訓練に密着

(CNN) ポーランド・ウクライナ国境のポーランド側の雑木林で、迷彩服を着た男たちが止血帯を渡される。そしてぬかるんだ地面に膝（ひざ）をつき、基本的なサバイバル訓練を始める。

彼らは自分たちを「ポホニア大隊」と呼んでいる。主にポーランドやヨーロッパ各地に住む30人弱のベラルーシ人亡命者グループで、ウクライナを守るための戦いにすでに参加している数百人の同胞の仲間入りをすることを望んでいる。

志願兵たちは、ロシアのプーチン大統領の支配から祖国を解放するためにはまずウクライナで同氏を倒さなければならないと話す。

隊員らの年齢は19～60歳。自動小銃カラシニコフのレプリカを携帯しているが、戦闘経験のある者はほとんどいない。

プロのポーカープレイヤー、ロックミュージシャン、そして電気技師もいる一団を率いるのは反体制派でレストラン経営者のバディム・プロコピエフ氏だ。

プロコピエフ氏は11日、「私はベラルーシ人にウクライナのための戦いに参加するよう呼び掛けた。それが第一歩となり、続くベラルーシのための戦いへつながるからだ」とCNNに語った。

同氏を含め、メンバーの大半は2020年に国外脱出を余儀なくされた。プーチン氏の盟友であるベラルーシのルカシェンコ大統領が不正選挙で勝利を宣言した後、大規模な抗議運動を取り締まったためだ。

1 2 3

ウクライナのために戦うベラルーシ人、プーチン氏の支配からの祖国解放を望む

2022.04.15 Fri posted at 19:00 JST



ポーランドの非公開の地点で、「ポホニア大隊」は戦闘訓練を積んでいる/Li-Lian Ahlskog Hou/CNN

「ウクライナがこの戦争に負ければ、ベラルーシが自由になるチャンスはゼロだ」とプロコピエフ氏は話した。

ポホニアは、外国人志願兵で構成される軍隊「ウクライナ国際防衛軍団」への参加を希望しているが、本稿執筆時点ではまだ入隊が認められていない。

他の数百人のベラルーシ人志願兵は、すでにウクライナ軍と共に戦っている。ベラルーシの野党指導者スベトラナ・チハノフスカヤ氏によると、開戦以来4人が死亡したという。

『愛犬の目が白くなったら危険！』目薬いらずの10秒習慣が簡単すぎ！

(バウムクーヘン) ①

「ベラルーシの人々は、自国の運命がウクライナの運命に左右されることを理解している。ウクライナの自由は、ルカシェンコ政権を排除するために非常に重要だ」と同氏は13日にCNNに語った。

ロシアはベラルーシをウクライナ侵攻の衛星基地として利用している。紛争が始まったとき、プーチン大統領はロシアとベラルーシの国境を通過してウクライナに軍隊を送り込むよう命じた。

首都キーウ（キエフ）周辺で地歩を築くのに失敗した後、ロシア軍は再編成と再配置のためにベラルーシに退却した。

1 2 3

ウクライナのために戦うベラルーシ人、プーチン氏の支配からの祖国解放を望む

2022.04.15 Fri posted at 19:00 JST



隊員らはウクライナでの戦闘に参加するのを望んでいる/Li-Lian Ahlskog Hou/CNN

北大西洋条約機構（NATO）は、ロシアがルカシェンコ大統領に軍隊の派遣を要請し、自軍を強化する可能性があるかと懸念している。それは、ベラルーシの亡命者と同国の軍隊が前線で向き合うことを意味する。

ベラルーシでは、ロシア軍がウクライナへの物資輸送に使用していた鉄道が4月に活動家によって部分的に切断された。

また、サイバー活動家は最近、対ウクライナ戦争に関与したベラルーシの国家機関をハッキングし、オンラインでロシアの偽情報と戦い続けている。前出のチハノフスカヤ氏が明らかにした。

しかし、こうした小さな抵抗は、欧州最後の独裁者と呼ばれるルカシェンコ大統領の28年にわたる支配に真の脅威を与えるには至っていない。

「長い旅には出発点がある。まずは小さな部隊から始めて、大きな部隊を作るのだ」とプロコピエフ氏は話した。

亡命者たちの目下の期待は、ロシア政府に依存するルカシェンコ氏がプーチン氏と将来をともにし、しかるべき結末を迎えることだ。それは、今のところ勢いに欠けるウクライナへの軍事侵攻がもたらす結果を受け入れるということでもある。

1 2 3